

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 2018年11月9日

【四半期会計期間】 第25期第2四半期(自 2018年7月1日 至 2018年9月30日)

【会社名】 株式会社フォーバル・リアルストレート

【英訳名】 Forval RealStraight Inc.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 吉田 浩司

【本店の所在の場所】 東京都千代田区神田神保町三丁目23番地の2

【電話番号】 03-6826-1500(代表)

【事務連絡者氏名】 取締役管理部長 早川 慎一郎

【最寄りの連絡場所】 東京都千代田区神田神保町三丁目23番地の2

【電話番号】 03-6826-1502

【事務連絡者氏名】 取締役管理部長 早川 慎一郎

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第24期 第2四半期 連結累計期間	第25期 第2四半期 連結累計期間	第24期
会計期間	自 2017年4月1日 至 2017年9月30日	自 2018年4月1日 至 2018年9月30日	自 2017年4月1日 至 2018年3月31日
売上高 (千円)	615,654	743,008	1,281,470
経常利益 (千円)	40,026	22,748	56,434
親会社株主に帰属する四半期 (当期)純利益 (千円)	41,514	23,346	68,627
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	41,514	23,346	68,627
純資産額 (千円)	229,436	270,353	268,176
総資産額 (千円)	391,799	499,697	490,389
1株当たり四半期(当期)純利 益金額 (円)	1.77	1.00	2.93
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)	1.77	0.99	2.92
自己資本比率 (%)	50.4	44.7	46.4
営業活動によるキャッシュ・フ ロー (千円)	2,160	82,682	28,433
投資活動によるキャッシュ・フ ロー (千円)	14,764	8,234	15,340
財務活動によるキャッシュ・フ ロー (千円)	23,176	27,303	21,462
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高 (千円)	245,602	336,626	273,013

回次	第24期 第2四半期 連結会計期間	第25期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自 2017年7月1日 至 2017年9月30日	自 2018年7月1日 至 2018年9月30日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	1.20	0.34

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度に係る主要な経営指標等については、当該会計基準等を遡って適用した後の指標等となっております。

2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社および当社の関係会社)において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前連結会計年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当第2四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用情勢の改善が継続し、景気は緩やかな回復基調で推移しましたが、貿易摩擦や地政学リスクの高まり、地震や豪雨等の自然災害による被害をもたらした景況感の悪化等、先行きは依然として不透明な状況で推移しました。

このような経済環境の中、東京都心5区（千代田・中央・港・新宿・渋谷区）のオフィスビル市場においては、2018年9月末時点の平均空室率が2.33%となり、前年同月比0.84%低下いたしました。（注）

また、東京都心5区の2018年9月末時点における平均賃料は前年同月比で1,443円（7.60%）上昇し、20,438円/坪となりました。（注）

当第2四半期連結累計期間において、当社は引き続き顧客企業の移転時における、不動産物件の仲介から内装工事、各種インフラの整備やオフィス機器・什器の手配までをトータルにサポートするソリューション事業を中心に事業活動を進めてまいりました。

不動産仲介等の売上高については、前年同期比11.4%減の66,989千円となりました。

内装工事及びそれに付随するサービスに関する売上高につきましては、前年同期比25.2%増の676,018千円となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高が743,008千円（前第2四半期連結累計期間比127,353千円増、20.7%増）、営業利益が22,747千円（同17,014千円減、42.8%減）、経常利益が22,748千円（同17,277千円減、43.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益が23,346千円（同18,168千円減、43.8%減）となりました。

（注）大手不動産会社調べ

(2) 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、499,697千円となりました。増減の主な要因は、現金及び預金の増加63,613千円、売掛金の減少45,807千円等であります。

負債は、229,344千円となりました。増減の主な要因は、買掛金の減少12,589千円、未払金の減少11,816千円、前受金の増加14,296千円、賞与引当金の増加13,368千円等であります。

また、純資産は、当第2四半期連結累計期間における親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等により270,353千円となりました。自己資本比率は、前連結会計年度末の46.4%から44.7%となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況に関する分析

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は前連結会計年度末と比べ63,613千円増加し336,626千円となりました。

なお、当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は82,682千円（前年同四半期は2,160千円の収入）となりました。収入の主な内訳は、税金等調整前四半期純利益の計上23,481千円、売上債権の回収による収入45,807千円等であり、支出の主な内訳は、仕入債務の支払による減少12,589千円、未払金の支払による支出12,069千円等であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、得られた資金は8,234千円（前年同四半期は14,764千円の支出）となりました。主な内訳は、保証金の回収による収入8,858千円、有形固定資産の取得による支出624千円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は27,303千円（前年同四半期は23,176千円の支出）となりました。主な内訳は、配当金の支払による支出27,848千円であります。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社が対処すべき課題について重要な変更はありません。

(5) 研究開発活動

該当事項はありません。

(6) 従業員数

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ及び当社の従業員数の著しい増減はありません。

(7) 生産、受注及び販売の実績

当第2四半期連結累計期間において、生産、受注及び販売実績の著しい増減はありません。

(8) 主要な設備

当第2四半期連結累計期間において主要な設備に著しい変動はありません。また、主要な設備の新設、除却等の計画に著しい変更はありません。

3 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	84,300,000
計	84,300,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間 末現在発行数(株) (2018年9月30日)	提出日現在 発行数(株) (2018年11月9日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	23,422,800	23,422,800	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数は100株でありま す。
計	23,422,800	23,422,800		

(2) 【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
2018年7月1日～ 2018年9月30日	-	23,422,800	-	55,598	-	21,117

(5) 【大株主の状況】

2018年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (株)	発行済株式 (自己株式を 除く。)の 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
株式会社フォーバル	東京都渋谷区神宮前5丁目52-2	14,330,300	61.18
海老澤 一	茨城県筑西市	300,000	1.28
神津 光宏	群馬県高崎市	219,000	0.93
石原 勝	新潟県佐渡市	215,000	0.91
吉田 浩司	東京都品川区	181,700	0.77
F R S従業員持株会	東京都千代田区神田神保町3丁目23-2	177,500	0.75
宗次 徳二	岐阜県可児市	161,300	0.68
楽天証券株式会社	東京都世田谷区玉川1丁目14番1号	159,700	0.68
GMOクリック証券株式会社	東京都渋谷区桜丘町20-1	159,200	0.67
松井証券株式会社	東京都千代田区麹町1丁目4番地	157,300	0.67
計		16,061,000	68.56

(6) 【議決権の状況】

【発行済株式】

2018年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)			
完全議決権株式(その他)	普通株式 23,421,800	234,218	
単元未満株式	1,000		1単元(100株)未満の株式
発行済株式総数	23,422,800		
総株主の議決権		234,218	

【自己株式等】

該当事項はありません。

2 【役員 の 状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期連結累計期間における役員の異動はありません。

第4 【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(2007年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(2018年7月1日から2018年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(2018年4月1日から2018年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、太陽有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

なお、従来から当社が監査証明を受けている優成監査法人は、2018年7月2日に太陽有限責任監査法人と合併し、太陽有限責任監査法人となりました。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	273,013	336,626
売掛金	142,327	96,520
原材料及び貯蔵品	563	1,778
前払費用	7,793	6,283
その他	10,806	3,218
貸倒引当金	119	144
流動資産合計	434,384	444,282
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	3,925	3,749
工具、器具及び備品（純額）	1,593	1,679
有形固定資産合計	5,518	5,429
無形固定資産		
ソフトウェア	1,528	1,322
無形固定資産合計	1,528	1,322
投資その他の資産		
差入保証金	10,280	10,048
破産更生債権等	8,062	8,062
繰延税金資産	38,339	38,339
その他	337	276
貸倒引当金	8,062	8,062
投資その他の資産合計	48,957	48,663
固定資産合計	56,004	55,414
資産合計	490,389	499,697
負債の部		
流動負債		
買掛金	103,029	90,440
未払金	33,990	22,174
未払法人税等	270	135
賞与引当金	30,911	44,279
役員賞与引当金	3,500	2,499
その他	50,511	69,814
流動負債合計	222,213	229,344
負債合計	222,213	229,344
純資産の部		
株主資本		
資本金	55,136	55,598
資本剰余金	20,654	21,117
利益剰余金	151,569	146,505
株主資本合計	227,360	223,221
新株予約権	40,815	47,131
純資産合計	268,176	270,353
負債純資産合計	490,389	499,697

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)
売上高	615,654	743,008
売上原価	271,916	371,855
売上総利益	343,738	371,152
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	136,451	151,238
その他	167,524	197,166
販売費及び一般管理費合計	303,976	348,404
営業利益	39,762	22,747
営業外収益		
受取利息	1	1
受取賃貸料	4,361	-
雑収入	5	-
営業外収益合計	4,367	1
営業外費用		
不動産賃貸原価	4,103	-
営業外費用合計	4,103	-
経常利益	40,026	22,748
特別利益		
資産除去債務戻入益	1,623	-
新株予約権戻入益	-	732
特別利益合計	1,623	732
税金等調整前四半期純利益	41,649	23,481
法人税、住民税及び事業税	135	135
法人税等合計	135	135
四半期純利益	41,514	23,346
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	41,514	23,346

【四半期連結包括利益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)
四半期純利益	41,514	23,346
四半期包括利益	41,514	23,346
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	41,514	23,346
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	41,649	23,481
減価償却費	692	920
株式報酬費用	9,991	7,428
貸倒引当金の増減額(は減少)	578	25
賞与引当金の増減額(は減少)	7,697	13,368
役員賞与引当金の増減額(は減少)	250	1,000
受取利息及び受取配当金	1	1
たな卸資産の増減額(は増加)	4,703	1,215
売上債権の増減額(は増加)	33,837	45,807
仕入債務の増減額(は減少)	66,818	12,589
前払費用の増減額(は増加)	328	1,510
未払金の増減額(は減少)	16,803	12,069
前受金の増減額(は減少)	1,922	14,296
未払消費税等の増減額(は減少)	2,513	2,178
その他	2,480	5,167
小計	2,429	82,951
利息及び配当金の受取額	1	1
法人税等の支払額	270	270
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,160	82,682
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	4,936	624
差入保証金の差入による支出	9,828	-
差入保証金の回収による収入	-	8,858
投資活動によるキャッシュ・フロー	14,764	8,234
財務活動によるキャッシュ・フロー		
新株予約権の行使による株式の発行による収入	-	545
配当金の支払額	23,176	27,848
財務活動によるキャッシュ・フロー	23,176	27,303
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	35,780	63,613
現金及び現金同等物の期首残高	281,382	273,013
現金及び現金同等物の四半期末残高	1 245,602	1 336,626

【注記事項】

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

1. 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
現金及び預金	245,602千円	336,626千円
預入期間3ヶ月超の定期預金	- 千円	- 千円
現金及び現金同等物	245,602千円	336,626千円

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2017年6月28日 定時株主総会	普通株式	23,401	1.00	2017年3月31日	2017年6月29日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年6月27日 定時株主総会	普通株式	28,101	1.20	2018年3月31日	2018年6月28日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)

当社は、ソリューション事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

当社は、ソリューション事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	1円77銭	1円00銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額(千円)	41,514	23,346
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益金額(千円)	41,514	23,346
普通株式の期中平均株式数(株)	23,401,800	23,420,478
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	1円77銭	0円99銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益調整額(千円)		
普通株式増加数(株)	15	73,647
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要		

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2018年11月7日

株式会社フォーバル・リアルストレート
取締役会 御中

太陽有限責任監査法人

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	佐藤健文印
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	小野潤印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社フォーバル・リアルストレートの2018年4月1日から2019年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(2018年7月1日から2018年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(2018年4月1日から2018年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社フォーバル・リアルストレート及び連結子会社の2018年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。